

補助金評価シート(平成24年度実績分)

(1) 補助金事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	補助事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名	
942211	勤労者住宅建設資金利子補給補助金	産業振興課	商工振興係	飯澤 誠	原 照代	
		一次評価年月日	平成 25 年 6 月 14 日	連絡先〔内線〕	2145	
補助金事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0704		労政事業		
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	#N/A				
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	4章		活力ある産業とにぎわいのまちづくり	
		節 (コード選択)	2節		雇用環境の充実	
		項〔基本施策〕 (コード選択)	2項		勤労者福祉の充実	
		目〔主な施策〕 (コード選択)	1目		就業の安定化支援	
	関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
	補助金の期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (開始)	S61	年度 ~ (終了予定)	年度	
	補助金の性質	<input type="checkbox"/> 事業費補助 <input type="checkbox"/> 団体運営費補助 <input type="checkbox"/> 大会運営費補助 <input checked="" type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他()				
補助金の交付基準	<input type="checkbox"/> 法令 <input type="checkbox"/> 条例規則 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱等 <input type="checkbox"/> 契約書 (規則等の名称:)					
補助金の算定方式	<input type="checkbox"/> 予算補助 <input type="checkbox"/> 決算補助 <input checked="" type="checkbox"/> 定率補助 <input type="checkbox"/> 定額補助					
補助金の財源内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国・県補助あり	(町 10 / 10)	(県 / 10)	(国 / 10)		

(2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(～に対して)……この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

<input type="checkbox"/> 一部事務組合等	<input type="checkbox"/> 公益法人	<input type="checkbox"/> 企業や団体	<input checked="" type="checkbox"/> 個人
----------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--

(交付団体名 : 町内に住宅を建設するために、労金から融資を受けた勤労者。)

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

勤労者の住宅建設を奨励し、借受者の金利負担を軽減し、生活の一助とする。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	返済負担の軽減を図るため、100万円(上限)を5年(上限)で20/100の利子補給を行う。
2	

(3) 補助金事業の実績 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		23年度	24年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)
① 指標名	利子補給決定者	人	3	10	7	1.43	7
① 説明	利子補給決定者数	目標値設定の根拠	H22年度実績より見込む				
② 指標名							0
② 説明		目標値設定の根拠					

(4) 交付額実績 / 計画の推移 [Do2]

		平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度										
事業費(円)		99,458			47,950			118,579			70,000										
補助率(町負担分)		100.0%			100.0%			100.0%			100.0%										
町交付額(一般財源)(円)		99,458			47,950			118,579			70,000										
財源内訳	特定財源																				
	国庫支出金																				
	県支出金																				
	地方債																				
	その他																				
一般財源		99,458			47,950			118,579			70,000										
人件費の概算		(千円)																			
対前年比		%																			
		平成22年度決算			平成23年度決算			平成24年度見込み			平成25年度見込み										
		174			67			66			66										
		/			38.4			98.5			100.2										
		年間人件費			年間人件費			年間人件費			年間人件費										
		/			/			/			/										
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.02	0.01	0.01	0.01	174	67	66	66
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	

(5) 補助金の効果の評価 [Check]

必要性	町民のニーズ（団体の活動が町民に求められているか）	B	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	[理由]	労働金庫からの借入者のみが対象となるため。
	社会情勢上必要か	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	[理由]	該当者は少ないが、町への定住化の一助にはなる。
目的妥当性	この補助金は広く町民のためになっているか？	B	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	[理由]	借入先が労働金庫と限定されているため。
	この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	B	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	[理由]	勤労者の定住に対する施策は必要。
有効性	事業の効果が具体的に把握できているか	A	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	[理由]	労働金庫からの報告により示すことができる。
	補助金を交付することで期待された成果は得られましたか	C	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	[理由]	該当者も少なく、補助金の額も少ないため。
公平性	対象者すべてに補助金が交付されているか	A	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	[理由]	該当者は全員交付している。
その他	これまでに見直し実績はあるか	B	A 今までに補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	[理由]	見直しはしていない。
	補助金等の交付により町にどれだけメリットがあるか		該当者がたくさんいれば町に定住する若い世代が増え、税収の増などにつながる。		

(6) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **□を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ□を一つチェックしてください)

- a 増額する
 b 減額する
 c その他(隔年対応等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)	
--------	--

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	25年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
労働金庫と連携し借入の利用者増を図るためにPRを行う。	[反映内容] 労働金庫より住宅建設資金を借入した勤労者に利子補給を行う。

(7) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。□をチェック
制度により継続実施	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input checked="" type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 □を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

上記 a ~ c を選択